

2024年度 最先端鉄鋼体験セミナー アンケート結果

【JFEスチール（株）西日本製鉄所（福山地区）】

◆日時：2024年8月8日（木）9：30～16：00

◆参加者：学生20名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：0名
- ・大学の掲示板：5名
- ・先生の推薦：15名
- ・その他：0名

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・将来の職業を考えるきっかけを作りたいから。
- ・材料の分野の研究に興味があったから。
- ・材料系で学ぶにあたり、鉄鋼を良く知りたいと思っていたから。
- ・鉄鋼に興味があり、製鉄所の現場に行ってみたかったため。
- ・自身の専攻の分野と深く関係があったから。
- ・金属材料の講義を大学で受けて興味をもち、セミナーに参加して企業の説明を聞いてみようと思ったため。
- ・専門的な授業を受けていくうちに興味をもった。
- ・授業で扱うものを直に見たかった。
- ・鉄鋼を作る所を近くで見てみたかったから。
- ・JFEスチールに興味があるため。
- ・金属材料の研究室に興味があり、金属材料の研究室を卒業した後のキャリアについて、知りたかったため。
- ・普段見られない鉄鋼の世界に興味があり、交通費の補助もあったため。
- ・授業で鉄鋼について学び、最先端の鉄鋼技術や実際に鉄鋼を製造する現場を見ることで、知識を深めたいと思ったため。
- ・製鉄業界に興味があり、かつ地元で開催していたため。
- ・大学での講義で得た知識を補強できるのではないかと考えたから。

3. 講義の感想

- ・素晴らしい内容でより一層興味を持てた。
- ・自分にとっては少し難しい内容だったが、とても勉強になり、今後の大学での勉学に生かせると感じた。
- ・大学で研究をしている教授とは異なる目線で、鉄鋼業について考えることができ良かった。
- ・とても分かりやすく、図を用いて考えることができたので、理解が深まった。
- ・カーボンニュートラルの観点から、今までに学んできた製造方法ではなく、新たな方法が導入されていることが分かった。鉄鋼材料の製造についても勉強しようと思った。
- ・分かりやすく、質問も自由にでき、面白かった。
- ・産業の動向を知る良い機会になった。
- ・自分の知識にある内容とない内容がどちらも含まれており、理解しやすく、得るものか多かった。
- ・エリンガム図を用いた説明が分かりやすくなった。
- ・精錬のメカニズムの講義から、実際の話や聞き、分かりやすかった。
- ・大学の先生の話の後に、会社の話があったので、理解しやすかった。
- ・エリンガム図や Fe-Fe₃C の相図の読み方は知っていたが、実際にどのように使っているのか分かって良かった。また、鉄鋼業界の現状や課題を知ることができて良かった。
- ・最先端の内容や、実際に鉄鋼等を製造する企業の視点での話を聞くことができとても勉強になった。
- ・質問させていただく機会があり、自分の長年の疑問を解消することができた
- ・材料を専攻していない学生でも興味を引く内容で、印象に残った。

- ・初学者でも分かりやすい内容であり、大学で学んだ内容を復習することができた。またJFEスチールで実施している、効率よく高炉を動かすための方法を学ぶことができた。
- ・鉄鋼業の現状と今後について知ることができ、JFEスチールの強みなど多くのことを知ることができとても有意義だった。
- ・精錬と製鉄の順序などを学べてとてもわかりやすかった。鉄鋼業界のこれからの課題について知ることができ、とても有意義な時間だった。

4. 工場見学の感想

- ・初めての機会でもとても新鮮で素晴らしい経験になった。
- ・圧延の工程を見ることができ、とても面白かった。距離が遠かったが、鉄からの熱気が伝わってきた。
- ・巨大な工場は圧巻だった。技術が詰まっていた。
- ・生で1200℃の鉄を見て興奮した。
- ・温度と音により、全身で製鉄の迫力を感じることができた。
- ・生産を効率良くするために製品運搬車だけを通知レーンを設けていることや、東から西に流れるように工夫していることが分かった。
- ・大迫力で経験できないことを得られ満足できた。
- ・大きさとにかく圧倒された。
- ・鉄からの熱や光を実際に感じることで楽しくなった。熱間加工の素早さに驚いた。
- ・圧延の速さを実感することができて良かった。
- ・重化学工業の雰囲気はひしひしと伝わって来た。他の業界の工場も見てみたいと思った。プラントの設計も面白そうだと感じた。
- ・まるで異世界にいる感じがして面白かった。
- ・全自動で圧延を行っていて凄かった。また、工場内をバスで移動していて工場の広さが良く分かった。
- ・圧延加工の流れを実際に見たが、初めて見るもので勉強になった。作業の効率化の工夫や、鉄鋼板をどのように薄く延ばしているのか知ることができた。
- ・実際に圧延している場面を見て、鉄という素材の面白さを見つけることができた。
- ・講義で教わった内容を間近で見学することができ、理解が深まった。
- ・圧延工程を見学することで圧延率が変わることで亜粒界組織がよりできやすくなるイメージが湧きやすくなった。また、高炉は外観しか見学がなかったので、内部の実感が湧きにくかった。
- ・高炉、転炉以外の工程は、ほぼ知らなかったので実際に目で見て、どのようなことをやっているのか知れて良かった。
- ・工場内はとても暑く、働く人がたくましく感じた。厚い熱せられた金属は圧延機にかけられると、とても長い金属になり驚いた。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：20名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・鉄鋼業についてもっと知りたいと思えたため。
- ・普段関わることのない方々の貴重な話を聞いて、とても役に立った。
- ・知らない世界にとっても興味を持った。
- ・製鉄工程についてより良く理解できた。
- ・今後の学習のモチベーションアップに繋がった。
- ・普段教科書等で勉強している内容を実際に見ることができた。
- ・SDGsや生産効率を上げるために日々工夫をしていることが分かった。
- ・今後、このような業界に関わるかもしれないので、実際に目に触れておくことは有意義だと思った。
- ・授業内容のイメージが持つことができた。
- ・鉄鋼業界の話から、材料としての鉄の詳しい話を聞くことができ、面白かった。鉄鋼への興味が湧いた。
- ・JFEスチールの今後の展望を知ることができた。エリンガム図自体は知っていたが、それを活用する事で、今の製鉄プロセスを自由エネルギーの観点から見ると最適に近い事を学ぶことができた。
- ・日本の鉄鋼業の現状を知れた。

- ・大学の授業で金属の内容を学んだが、実際に見ることにより、理解が深まった。
- ・授業では学べない鉄鋼業界の動きや、カーボンニュートラルに向けた取り組みなど、今後の進路を考える上で非常に役立だった。
- ・実際の工場見学でネット等でも見ることができない作業の工程を見ることができ、とても勉強になった。
- ・製鉄業界の抱える課題やこれからの将来について、より知ることができた。
- ・鉄鋼の生産の流れを五感で学ぶことができた。
- ・大学で学んだ内容の補強をすることができ、研究室の分野を選択する上で参考になった。
- ・就職活動に活かすことができるから。
- ・工場見学をすることで現場の仕事内容に知れて良かった。興味があった分野だったので良かった。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・「1日は適当」：20名
（体力的にも、内容密度的にもバランスが良かったため。気軽に参加しやすいから。学生として一日であれば参加するための諸費用が捻出しやすいから。宿泊施設について考えないといけないから。等）
- ・「適当でない」：0名

<時期>

- ・土曜日開催がよい：0名
- ・平日開催がよい：1名
- ・夏休み開催がよい：17名
（夏休みは非常に長いので、遠くの場所からでも行きやすく、予定を立てやすいから。時間に余裕があるから。大学の授業がある期間では、レポートなどがあり参加することが難しいため。等）
- ・冬休み開催がよい：3名（夏は暑すぎたため）
（無回答：1名、夏休み/冬休み重複回答：1名、平日/夏休み重複回答：1名 長期長期休みに開催することで参加しやすかったが、夏休みに入ってしまうため8月末9月初め等の夏休みの中ほどに開催してほしい。）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。（多数）
- ・非常に有難い。（多数）
- ・関東の大学に通学しているため、交通費補助は、参加のきっかけとなった。私自身また来年以降も参加したいくらいだ。
- ・遠方からでも参加し易いため。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。（多数）
- ・授業でやった内容をより深めることができるため、後輩に参加を勧めたい。
- ・後輩には実験と研究の日程中に申込期間が被っていた場合勧めたい。
- ・鉄鋼産業に興味がある後輩には勧めようかと思う。

【日本製鉄（株）東日本製鉄所 鹿島地区】

◆日時：2024年8月21日（水）9：15～16：15

◆参加者：学生18名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：2名
- ・大学の掲示板：6名
- ・先生の推薦：10名

- ・その他：1名（大学からの紹介）
（大学の掲示板案内/先生の推薦重複回答：1名）

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・金属の分野に興味があったから。
- ・自分の専攻に関わりのある仕事についての知識を深めたかったから。
- ・講義で鉄鋼材料の製造法について学んでおり、実際に見学する機会を作りたいと考えていたため。
- ・大学の教授に紹介していただき、面白そうだと感じたから。
- ・自身の研究でCO₂を海中に固定するのを目指しており、鉄鋼分野との関係を調べたかったため。
- ・大学の講義で鉄鋼材料について学んだため、製鉄に興味があった。
- ・材料に関する講義を通して興味を持った。
- ・工場見学が無料でできるという点に魅力を感じたから。
- ・大学の講義で鉄鋼材料について少し学び、興味を持ったため。また製鉄所を一度見学してみたいと以前から思っていたため。
- ・機械を今後扱っていく上で、材料への理解を深めたかったため。
- ・1年生のうちにできる事を考えた際に、インターンだと知識が不足して何もできないと思い、今のうちにできる工場見学に参加した。
- ・専門領域の選択のための情報集めの中で金属材料への興味が高まっていたところ、大学の先生から案内があったため。
- ・鉄鋼業界への興味関心から。
- ・鉄鋼業の仕事や未来像についてより深く知りたいと思ったから。
- ・自分の専攻を決める判断材料になると思ったから。
- ・金属工学を学ぶ学科にあり、その目指すところを先に学びたいと思ったから。また、交通費が出ることもあり、関東の現場を見る良い機会と思ったため。
- ・自分の大学以外の大学や、企業における鉄鋼研究の話が聞ける良い機会だと思い、また、製鉄の工場見学をしたことがなかったので、見てみたいと思ったため。

3. 講義の感想

- ・鉄の製造だけでなく、日本製鉄についても詳しく話を聞けたので、とても面白かった。
- ・鉄鋼の基本的な知識からカーボンニュートラルに関する次世代のビジョンまで詳しく知ることができた。
- ・2つとも講義が面白く、学校で習った内容もあり、講義がより深い理解の助けとなった。
- ・製鉄の方法は今までで何と無くしか知らなかったが、詳しく理解でき、興味を持つことができた。カーボンニュートラルの実現に向けて自分なりに考えるきっかけとなった。
- ・日本の製鉄のエネルギー効率が他の国と比べて高いことに驚いた。電気炉法による銅の濃度の問題や鉄鋼備蓄の概念など初めて知ることも多かった。
- ・日本製鉄のこれからの戦略について知ることができた。
- ・スクラップの課題や鉄鉱石から鋼ができるまでの工程など様々なことを学べた。
- ・鉄自体について、鉄をとりまく現状など様々なことを学ぶことができた。今後の大学での勉強により意欲が湧いた。
- ・材料を専門としていない人にも分かるように根本的なところから教えて下さったため、とても分かりやすかった。
- ・高校で習ってきた化学を、実際の現場でどう使われているかを知ることができ、今後何をどう学ぶべきかを理解することができた。
- ・普段大学で学んでいることが実用的な技術に、どのように繋がっていくのかを知ることができ、学修への意欲が高まった。
- ・非常に良かった。概要が掴めた。
- ・鉄の作り方や、カーボンニュートラルの課題について、具体的に丁寧に教えて下さった。
- ・関心を持ってもらえるよう工夫されていて大変面白かった。
- ・鉄鋼プロセスの基本や、鉄鋼業の課題がまとめられており、分かりやすかった。
- ・想像以上に鉄鋼産業の技術的社会的な概要を知ることができた。技術面でも地域によって課題が異なるのが意外だった。
- ・大学でも鉄鋼の基本的な知識は教わっているが、ワンパターン化としていたので、別の切り口から話

を聞いて楽しかった。会社についての話も普段は聞くことのない内容で面白かった。

4. 工場見学の感想

- ・初めて実際の鉄の製造をみるのができた。写真で見るよりも迫力があり良い経験になった。
- ・圧延の迫力が凄かった。鉄の粉があんなに舞っているとは想像していなかったので、マスクをしておきたかったと思った。
- ・とても暑かった。実際に工場に行くと鉄の熱感を知れたと共に、目で見るということは重要な経験になった。
- ・製鉄を初めて見学できた。滅多に見ることの出来ない貴重な見学だった。画面越しや人の話を聞くのと現場で実際に見るのでは全く異なり、見学できて良かった。
- ・熱気が凄かった。高温の鉄が放つ光が眩しく、映像を見るだけでは得られない体験が得られた。
- ・鉄、鋼の熱を、身を持って体感することができた。
- ・普段見られない鉄の製造を見学することができ、とても楽しかった。大学の講義で流れるようなビデオを実際に見ることで、多くのことを学べた。
- ・工場内がとても暑く、生活を支える鉄鋼材料の生産の大変さとありがたさを感じた。フィッシュテールを見ることができて良かった。
- ・自分の目で見ると映像とは異なりとてもリアルに感じる事ができた。
- ・暑さを甘く見ていた。その中で働いている方たちには感謝しかない。一生に一度しかできないような経験ができてとても楽しかった。
- ・間近で設備を見せていただいて、大迫力の工程に興味が止まなかった。大変熱かったが、それすら思い出にできそうだ。
- ・一生の思い出になった。
- ・実際の鉄が加工される過程を見る事ができ、とても面白かった。
- ・映像で見たときと全くスケールが異なり、とても良い経験になった。
- ・図や映像だけでは分からなかった、溶銑の上澄みをすくうなどの実装工程ならではの工夫が見られて良かった。
- ・印象的だった。そしてやはり非常に熱い。伝熱工学の講義で赤の鉄の側は地獄を聞いていたが、体験できて良かった。
- ・非日常過ぎてほとんど圧倒されて終わったが、これまで座学でしか学んだことのなかったことを目で見られたことで、学びが深まったように思う。純粋に楽しかった。
- ・状態強化などの知識は持っていたものの、冷却・加温について想像よりも原始的に（水シャワーなど）で行っていたのが印象的だった。そしてやはり非常に熱い。伝熱工学の講義で赤の鉄は側は地獄と聞いていたが、体験できて良かった。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：18名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・材料の学科に所属しており、その中でも金属分野に特に興味があるので、今日の講義と工場見学は、どういう研究をしたいかを考える材料となったから。
- ・教科書や資料集でしか見たことのなかった、鉄鋼の製造現場の雰囲気を感じることができ、現場で働くことに関する解像度が上がった。
- ・講義でイメージした後、すぐに工場で見学するという流れがとても良いと感じた。
- ・製鉄の方法などとても良い学びとなった。また、自分の将来を考える良いきっかけともなった。
- ・東日本製鉄所の役割、より良くするための工夫について学ぶことができたから。
- ・どのように鉄や鋼が製造されているのかを学び、実際に工場で見学することによって、学びが定着した。また、今後の就職活動において有意義な体験ができた。
- ・様々な学びを得ることができた。実際の様子などなかなか知ることができないことが多く、非常に良い経験だった。
- ・鉄鋼のみにフォーカスした話を聞き、製造過程を視覚や温度で感じる事ができ、理解が深まったため。
- ・自分の学科は、材料系ではないので、製鉄にはあまり関係ないと思っていたが、ロボットアームなど、システムが大きく関係していて、新たに興味を持つことができた。

- ・一日通して大変有意義な時間を過ごせた。将来の選択肢の中に鉄鋼業の可能性を考え出したのはかなり前だったが、具体的に知る機会はなかなかなかったため、今回のセミナーに参加できて良かった。
- ・他では得られない実体験は貴重だと思う。
- ・鉄鋼の現場を肌で感じられた。研究職や技術スタッフの働きももう少し見られたら良かった。
- ・学術的な話から実際の製鉄所の見学を通して日本の基幹産業の強さが分かった
- ・自分の研究分野が実際に商品として作られていくのを見ることで、より理解を深めることができた。
- ・大学で学んだ内容だけでは実際のプロセスのイメージが沸かないので、現実の製造がどう行われているのかよく見ることもできた。
- ・大学でいつも受けている講義と同じ内容だったが、違った見方で学べたことで新たな発見が沢山あった。工場見学では、迫力ある、本物の製鉄見ることができ、これまで感じたことのないほどワクワクを感じ鉄鋼への興味が深まった。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

- ・「1日は適当」：17名（講義と見学をするにはちょうどいいため。内容を削る必要がないと思った。遠くからでも参加しやすいため。体力等も考慮すると適当であった。募集日が早く、スケジュールに余裕があるため。2日以上であると日程調整が難しくなるため。十分早くから告知ポスターがあったので、予定が合わせられるため。）
- ・「適当でない」：0名
（無回答：1名）

<時期>

- ・土曜日開催がよい：1名
- ・平日開催がよい：1名
- ・夏休み開催がよい：14名
（まとまった時間がとれ、予定が立てやすいから。夏休みは日程的に余裕があるから。遠くからでも参加しやすく、長期の休みなので、時間に追われることなくじっくり見学できるから。時間に余裕があることから参加のハードルが下がるため。学部3年の夏休みに参加したので、これまでの大学での学びを実際の体験として得られたことはちょうど良かった。）
- ・冬休み開催がよい：2名（暑かったため。）
（無回答：1名、平日/夏休み重複回答：1名 道が土日より渋滞せず、早めに始める就職活動に適切だと思った。）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。（多数）
- ・非常に有難い。（多数）
- ・交通費が補助されることで参加しようと思う地域が広がったので動機になった。
- ・交通費補助がなかったら参加しない可能性があった。
- ・バスの交通費が高かったので交通費補助は参加する動機として大きかった。
- ・交通補助があることで、普段は行くことない東日本の地区を迷いなく選ぶことができた。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。（多数）
- ・材料を学びたい後輩には、ぜひ勧めたい。
- ・同じ学科だけでなく幅広い分野の後輩に勧めたい。
- ・良い経験となったので、鉄鋼へ無味をもっている後輩がいたら勧めたい。
- ・来年以降、知り合いの後輩に参加を勧めると思う。
- ・あれだけの数の機械が動いているところを見るのが貴重な体験であるから。
- ・友人にも勧めたい。

【日本製鉄（株）瀬戸内製鉄所 広畑地区】

◆日時：2024年8月22日（金）9：30～16：00

◆参加者：学生18名

1. 本セミナーを何で知りましたか？

- ・協会ホームページ：1名
- ・大学の掲示板：7名
- ・先生の推薦：7名
- ・その他：3名（友人の紹介、等）

2. 本セミナーに参加した動機について

- ・教授が講義中に本セミナーについて熱心に語っていたため。
- ・授業で先生がセミナーを紹介していて、興味をもったため。
- ・大学で学習した材料工学、力学で、材料について興味をもったから。
- ・自動車の材料である鉄を製造している日本製鉄に興味があったから。
- ・鉄鋼に興味があったため。
- ・鉄鋼について授業を受けて、興味をもったから。
- ・材料に興味があるため。
- ・文系の学問ばかり学んでいたため、普段触れる機会がなかった鉄鋼について知識を得ることで視野が広がるのではなかと考えたから。
- ・見識を広め、就活や今後の人生に活かすため。
- ・昨年も作年も参加したから。電磁鋼板は、旬の鉄鋼材料だから。
- ・無機に興味があり、鉄鋼の企業を見ておきたかったため。
- ・これまで全く興味を持たなかった分野だから。
- ・大学で紹介されていたため。
- ・マテリアル科学を専攻しており、鉄鋼業界に興味があるから。
- ・友人からの紹介があり、普段触れることのない製鉄について知りたいと思ったから。
- ・進路の参考にするため。
- ・鉄鋼材料に興味があり、日本製鉄の施設を実際に見学でき、交通費が出るから。
- ・労務管理の授業の中で、現場を知ることが重要だと教わり、実際に見たかったから。

3. 講義の感想

- ・それぞれ、研究、実務内容共に、興味深かった。
- ・日本製鉄の取組みを知れて良かった。
- ・大学で学んだ内容が多く、さらに発展した内容も含まれていたのも理解に苦しむことなく学習できた。
- ・タイタニックという掴みやすいテーマから入って、細かい部分まで学ぶことができた。また、日本製鉄について知ることができた。
- ・非常に分かりやすかった。
- ・鉄の将来性や現状、或いは、どのような研究がされているか等、普段あまり知ることのできない鉄鋼分野のことを深く理解することができた。
- ・鉄鋼に関する基礎的な話から、独自の研究の話まで伺うことができて面白かった。
- ・タイタニック号という分かりやすい話題から、鉄に関する深い話に繋げて下さったので、非常に分かりやすく勉強になった。
- ・非常に良かった。
- ・副工場長にも多く質問できて満足している。
- ・鉄鋼関連の講義から、次に、会社のことの講義につなげることで、どのような開発をしていくのかが分かりやすかった。
- ・大学での講義を振り返る機会になった。
- ・大学で学んだことが紹介されており、普段の勉強が意味のあるものであると再確認できた。
- ・先生の研究の話や、日本製鉄の会社概要が聞けて、非常に役に立った。特に、先生の話では、基礎から、先生がどう考えて研究を行っていったのかまで聞くことができ、興味深かった。
- ・文系の自分でも分かりやすい内容で、鉄というものの使用の幅を実感できる内容であった。

- ・大学、大学院を出た後、どのような仕事を行うのか、具体的な事例がとても参考になった。
- ・すべて理解できた。もう少し専門性が高くても良いと感じた。
- ・文系であるが、それでも十分楽しめた。面白い講義を聞いて良かった。

4. 工場見学の感想

- ・身近の素材がどんなプロセスで生み出されているか間近で見られて良かった。
- ・一部見にくい部分があったが、説明用のイヤホンでガイドが聞きやすかった。
- ・生産工程を見ることができなかったのは残念だったが、実際の設備や機械をみることができ、とても興味深かった。
- ・実際に見て、鉄がどのようにつくられているのか知ることができた。
- ・映像でみるより、迫力があり、見学当日は機械が動いていなかったが、様々な経験ができてよかった。
- ・授業や講義で習ったことが実際でのように行われているのか実感がもてた。
- ・工場が稼働している様子は小学生のときに見学したことがあったが、点検中ということで珍しいものが見られて良かった。
- ・実際に工場の中に入って見学したのは初めてだったので、良い経験になった。
- ・幸か不幸か工場は点検日だった為、他の見学では見られない様なところも見られた。
- ・工場内の通路が綺麗だった。説明者の方の説明が分かりやすかった。
- ・メンテナンスの重要性やスパンを知る、貴重な経験だった。
- ・設備、内容、雰囲気を感じて良かった。
- ・工場見学に持っていったペットボトル1本では水分が足りなかった。
- ・普段見ることのできない内部を見学できて、とても興味深かった。
- ・写真や図でしか見たことのない機械が目の前で見られて、とてもよい経験になったが、できれば点検中ではなく実際に鉄鋼を作っている様子が見たかった。
- ・製鉄と一言でまとめられているものの、多様な工程が存在していて、非常に興味深い内容ばかりであった。
- ・実際に見ないとわからない製鉄のスケールや雰囲気について知ることが出来た。
- ・実際の現場のスケールの大きさに圧倒された。
- ・工場の温度、雰囲気を感じることができた。

5. 本セミナーは役に立ちましたか？

- ・役に立った（良かった）：18名
- ・役に立たなかった（悪かった）：0名

<理由等>

- ・大規模な、鉄材の製造現場は初めて見るため参考になった。
- ・普段見ることのない製鉄所を見学できたため。
- ・普通では見たり聞いたりすることができない、生産部分を間近で見学することができ、座学で補えない部分が多かったから。
- ・これから始まる就職活動の手助けになった。
- ・大学の講義で材料の講義で材料（鉄）について学んだが、それ以上の物を得ることができた。
- ・自分の将来についても考えるきっかけとなったため。
- ・鉄鋼に関する専門的な知識から経営の話まで沢山の分野について考えることができた。
- ・鉄鋼業界については、決算資料等でしか追えていなかったため、実際に現地で目にする事で空気感を掴めた。
- ・約1年振りに日本製鉄を見学させていただき、昨年から変化した点や、同じ点を知ることができ、国内鉄鋼業のトップメーカーの考え方、社員の方の雰囲気、広畑の特徴を知ることができ非常に役に立った。
- ・鉄鋼の企業の雰囲気を感じられたため。
- ・タイタニックなど、実生活との関わりが分かり、理解が深まったから。
- ・鉄鋼業の仕事内容を知ることができた。
- ・これまで知らなかったことや、曖昧だった鉄についての知識を沢山見たり聞いたりできたから。
- ・日本の製鉄業や、日本製鉄についての知見を得ることができたから。
- ・進路を決める上で有益な情報が得られたから。

- ・不透明だと感じていた現場の状況や、製造プロセスを詳しく知ることができたから。
- ・製造業の上工程を実際に体験できてよかった。メーカーへの就職を考えているので、大変参考になった。

6. 開催期間（1日間）及び時期について

<期間>

※重複回答あり

- ・「1日は適当」：18名（1日で鉄鋼への理解を深められたから。連泊をする必要がないため。1日で十分な体験をすることができたから。予定が合わせやすいから。適当であると思うが、2日間でも良いと思う。等）
- ・「適当でない」：1名（スケジュールは組みやすいが、ヤードや協力企業の所も見なかった。）

<時期>

※重複回答あり

- ・土曜日開催がよい：0名
- ・平日開催がよい：1名
- ・夏休み開催がよい：9名（多くの方が休日であり、参加しやすいため。長期休みだと学生は割と暇なので、集まりやすく良い機会だと思う。夏休みの方が長いため。予定が合わせやすく、遠方でも参加しやすいから。夏休みは前後の日程も踏まえて余裕があるため。）
- ・冬休み開催がよい：13名（夏場は暑いため。工場内がとても暖かいため。気温的に工場を見学しやすいから。暑いので冬休みも良いと思った。土曜、平日だと、平日だと行ける人のエリアが限られる。どれだけ対策しても熱中症になるから。）

7. 交通費補助は参加の動機になりましたか？ また来年以降、後輩に参加を勧めますか？

<交通費補助>

- ・動機になった。（多数）
- ・非常に有難い。（多数）
- ・遠方に住んでいるため助かった。
- ・正規の動機ではないが、コストが小さいことは間接的な動機となった。

<後輩に勧めるか>

- ・ぜひ勧めたい。（多数）
- ・同じ学科の後輩に参加を勧めたい。
- ・知見が広がるため、勧める。
- ・鉄鋼というののもあって行きたい人が限られるとは思いますが、鉄鋼に関心があれば勧めても良いと思う。
- ・鉄鋼業に興味のある人がいれば、勧める。

以上